

ピンと来ないが、実感が無いが、  
彼らは、それなりに、緊張ある受験を突破して来た勝者だ。

明日の中学入試の為の、  
考査番号や指示紙を張るのを手伝い、  
家に帰ると三時二十五分。

母に、「何か買いい。」と、百円もらった。  
しかし、買うものないので、そのまま机の中に収めた。

期末試験準備の予定を立てた。

明日のぶんからの予定。

今日は、もうその後、すぐ床入りで、昼寝だ。

八時頃、目をさます。

めしを食い、またすぐ寝ちまう。

新学期からは、真面目に勉強しなくちゃだめだ。

兄貴は、今、京都大学入試で、  
大きなかけをしようとしている。

僕も準じて、何かやらかそうかなあと思ひ、

兄貴が京都大学入試に失敗したら、  
一度坊主頭にしようかなあ、と思ひながら、眠った。

寒くて、首だけふとんから出して、

机の前の写真をながめているうちにウトウトと、  
坊主頭を見て、あの子が笑っている姿を想像した。  
そうならない様に、「兄貴、頑張れよ！」